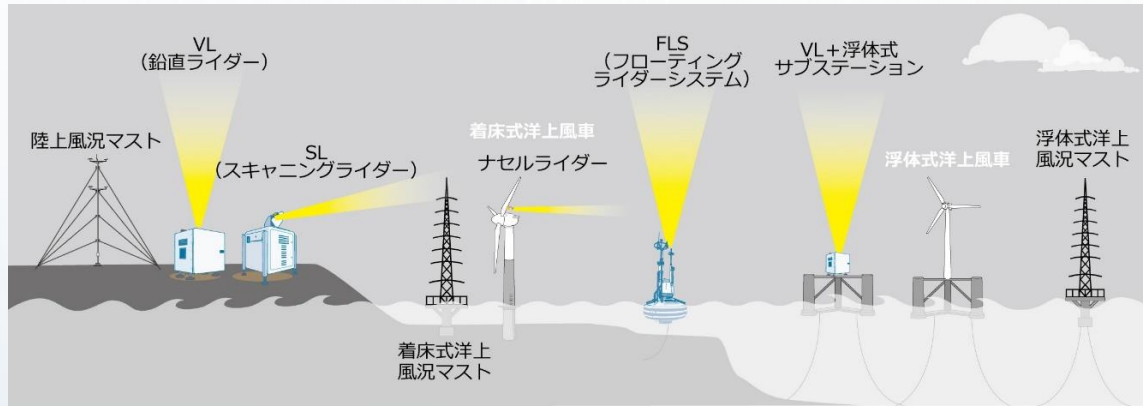


むつ小川原サイトとは

◆むつ小川原サイト整備の背景と目的

洋上風況観測用のライダー機器には、事前の精度検証が必要※1である一方で、検証用の公的な試験サイトが国内では未整備です。
 このたび、青森県六ヶ所村むつ小川原港内に位置する、「むつ小川原サイト」において、**公的な試験サイトとして運用するための施設整備や体制構築を行っています。**現在の事業が終了する2024年以降は、神戸大学を中心とした運営体制のもと、**一般に広く利用できる公的な試験サイトの構築を目指してまいります。**



洋上風況観測手法の主な事例



NEDO「洋上風況観測にかかる試験サイトのモデル検討・構築」事業の共同実施者（神戸大学、レラテック株式会社、日本気象協会）

※1. 出典：「洋上風況観測ガイドブック」NEDO https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101630.html
 なお、同ガイドブックの作成には、むつ小川原サイトでの実観測結果等が利用されている。

◆むつ小川原サイトの概要

むつ小川原サイトは、むつ小川原港湾の防波堤に設置された洋上気象マストを中心に、5つの地点から構成されています。

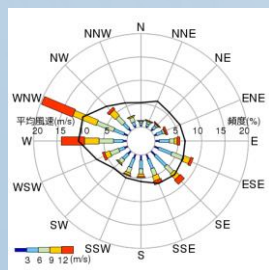
【特徴】

●精度検証に最適な洋上気象マスト観測データ

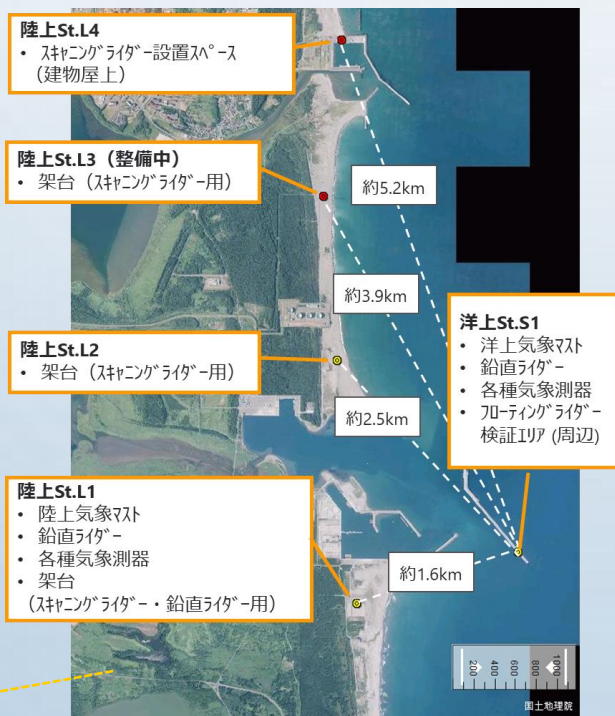
対象例：スキャニングライダー、フローティングライダー、鉛直ライダー、衛星観測データ、数値シミュレーション

●検証対象機器設置用架台を複数ヶ所に配備 様々な実証実験がデザイン可能

※ただし、冬季は積雪、夏季はやませによる視程悪化の影響の可能性あり。



出典：NeoWins(洋上風況マップ) (NEDO) サイト近傍の風況



むつ小川原サイト位置図・各地点の設備
 ※各地点名を記号「St.○」で示す

所在：青森県六ヶ所村むつ小川原港湾内
 アクセス：八戸駅から車で60～90分、
 七戸十和田駅から車で50～60分
 三沢空港から車で40～60分

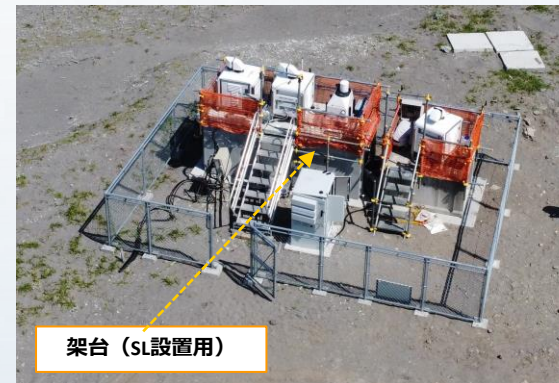
洋上St.S1

- ・洋上気象マスト、VL設置済
- ・SLの検証用にSt.S1の観測データを用いる
- ・St.S1から500m圏内の海域において、フローティングライダーの精度検証が可能



陸上St.L2

- ・SLの設置が可能（7基設置枠あり）

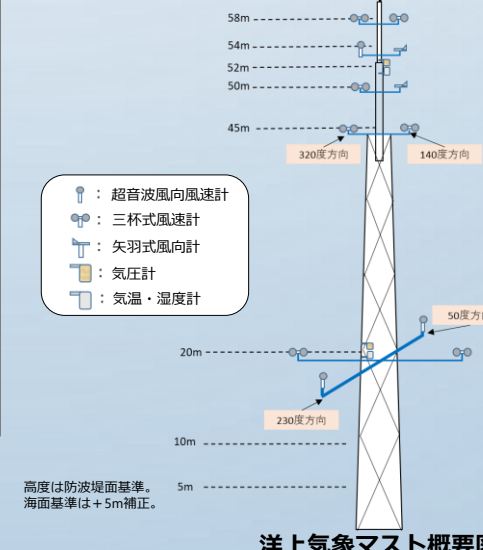


陸上St.L3（整備中）

- ・SLの設置が可能（3基設置枠あり）

◆提供可能データ例

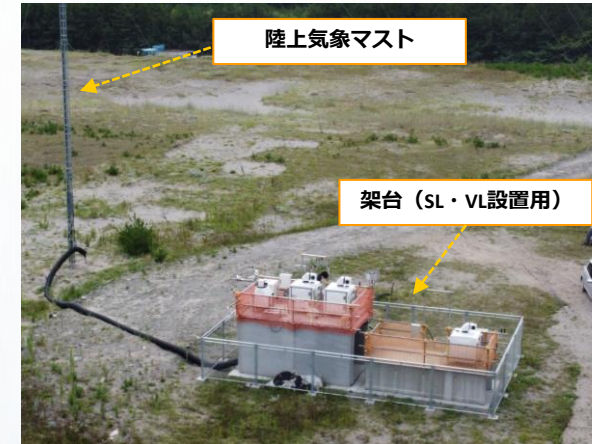
洋上気象マストに設置したセンサーによる測定値が主な提供データとなります。その他、洋上St.S1に設置した鉛直ライダー、陸上St.L1の陸上気象マスト等のデータが提供可能となる予定です。



高度は防波堤面基準。海面基準は+5m補正。

陸上St.L1

- ・陸上気象マスト、VL設置済
- ・SL、VL、その他機器の設置が可能（SL用に8基設置枠あり）



陸上St.L4

- ・SLの設置が可能（2基設置枠あり）



SL設置スペース（建物屋上）

むつ小川原サイトにおける観測一覧

地点	高度	センサー種類
洋上St.S1	58m	三杯式風速計
		三杯式風速計
	54m	超音波風向風速計
		矢羽式風向計
	52m	気温計、相対湿度計、気圧計
		三杯式風速計
	50m	矢羽式風向計
		三杯式風速計
	45m	三杯式風速計
		三杯式風速計
20m	超音波風向風速計	
	気温計、相対湿度計、気圧計	
20～310m	鉛直ライダー	
-	雨量計、海面温度計、視程計、GPS計、カメラ等	
陸上St.L1	-	陸上気象マスト（高度60m） （三杯式風速計、矢羽式風向計、気温計、相対湿度計、気圧計等）
	40～300m	鉛直ライダー
洋上	ご要望に応じて	デュアルスキャニングライダー観測